

・チェック回路の使い方（基本編）

01. チェック回路の裏にある電池ケースのフタを取り外し、チェック回路の電源をONにします。右の囲み部分にスイッチがあります。（使用後OFFにしてからご返却下さい。）

02. 次に、何もつながらない状態で、チェック回路上面の白いボタンを押して下さい。この時はイエローのランプしか点灯しませんが、チェック回路の電源が正常にONになっているか、電源不足ではないかの確認作業を行います。

03. 弊社からは基本的に「使用日の2日前」までに納品を終えるように機材の発送を行っています。まずは発送中の破損が無いかをご確認頂くために、商品到着時に1回目、各種花火の設置が終えた段階または、点火直前の段階で2回目の2重チェックを行って下さい。（到着後即時ご確認頂き不具合が認められている場合は代替器の差し替えが間に合います。）
テストしたい固定台のコード（スイッチボックス側）を抜いてテスト回路上部の端子にコードを差込み、白いボタンを押します。結線が正常であればグリーンランプが（イエローと同時に）点灯します。

04. グリーンランプがつかない場合、またはついたり消えたりする場合は「花火と固定台の端子部分」「固定台とコードの差込み口」を再度確認して下さい。ほぼこの2点に問題が起こっているはずです。

・チェック回路の使い方（応用編）

Check II 「もしも上の04以外の場所に不具合がある場合」こんな確認作業も可能です。問題の済み分けをして、対応策をこじましよう。

05. コードのみを接続して（片側のみ通電をさせた状態）チェック回路を使えば、そのコードが断線していないかの確認ができます。この時右の05（上写真）の通り端子部分を直接手で触れないようにして検証して下さい。人間の体は電気を流します。05（下写真）のようにすると正確にテストが行えます。

06. コードに問題が無ければスイッチボックスの検証にうつります。スイッチボックスの検証時には「全ての花火や固定台」が接続されていない状態で行って下さい。まずは固定台側のコードを抜いて、チェック回路につなぎます。スイッチボックスの選択ボタンをONにし、チェック回路のボタンを押したままの状態、点火ボタンを押します。チェック回路のグリーンランプ点灯が確認出来れば「1回路分」の確認が完了します。コードごとの端子へずらして、つど点火ボタンを押していけば「スイッチボックスの破損」を見抜く事ができます。

07. 最後に疑うのは花火本体です。しかしながら、花火自体の断線は余程強い衝撃が無い限り断線する事はありません。梱包を解いて設置する際は、落としたり乱暴に扱わないようにして下さい。05の検証時と同じく、接点部分を指で触れないようにしてボタンを押して下さい。



05～07 までは弊社から出荷前のテストで不具合の対策を講じています。問題が発生した時の済み分けとしてお考え下さい。